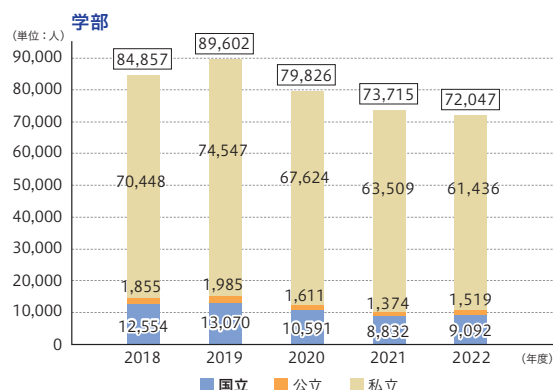


5. 国際化

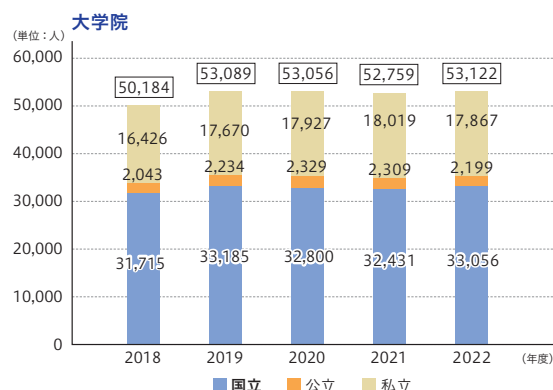
世界に開かれる国立大学の教育・研究

海外から、及び海外への留学生数は毎年増加し、特に大学院においては外国人留学生の6割以上を国立大学で受け入れていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により入出国者が減少したことに伴い、海外から、及び海外への留学生数は減少した(5-1、5-2)。一方で、外国人教員数及び英語での授業実施科目数は毎年増加している(5-3、5-4)。また、多くの研究者を受入・派遣しており、受入・派遣ともに5割以上を国立大学が占めている(5-5、5-6)。

5-1 海外からの留学生数

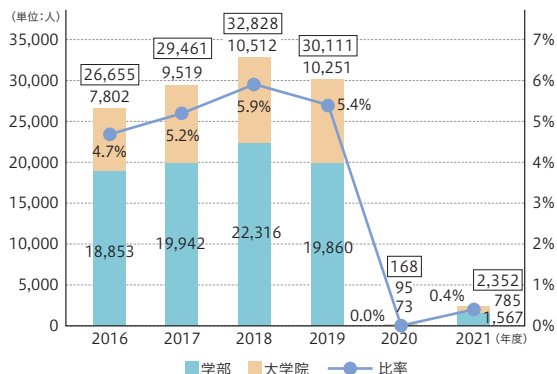


(出典) 日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(各年度)より国立大学協会事務局作成



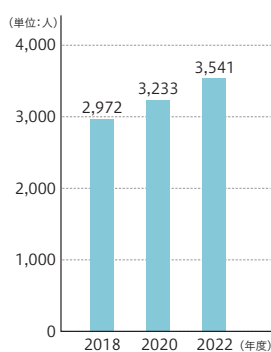
(出典) 日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(各年度)より国立大学協会事務局作成

5-2 国立大学における海外への留学生数・比率



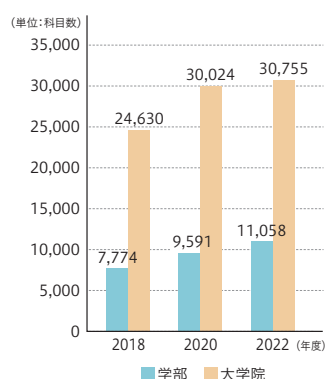
(注) 比率は海外留学生数(日本人学生に限る)の割合。分母は【同年5月1日時点の総学生数(国立大学協会調査)・外国人留学生数】
(出典) 国立大学協会「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」フォローアップ調査結果(各年度)より国立大学協会事務局作成

5-3 国立大学における外国人教員数(本務者)



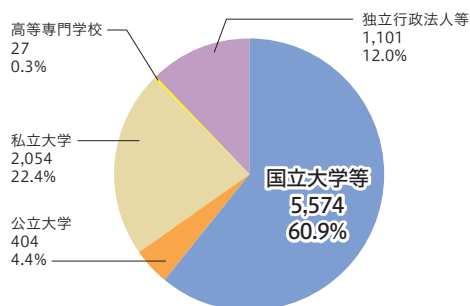
(出典) 文部科学省「学校基本調査」(各年度)より国立大学協会事務局作成

5-4 国立大学における英語での授業実施科目数



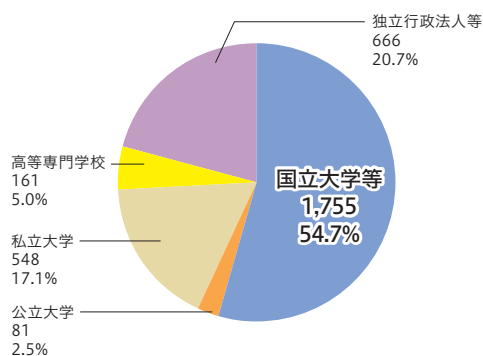
(出典) 国立大学協会「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」フォローアップ調査結果(各年度)より国立大学協会事務局作成

5-5 海外からの受入研究者数



(注1) 2021年度の調査結果
(注2) 短期・中期・長期派遣の合計数
(注3) 割合については、値を四捨五入しているため、各区分の合計が100%にならない場合がある
(出典) 文部科学省「研究者の交流に関する調査報告書」(令和3年度)より国立大学協会事務局作成

5-6 海外への派遣研究者数



(注1) 2021年度の調査結果
(注2) 短期・中期・長期受入の合計数
(出典) 文部科学省「研究者の交流に関する調査報告書」(令和3年度)より国立大学協会事務局作成